



Innovation for Customers



News Flash

人・技・知の出会いによる共創の実現を目指して
研究開発と人財育成の融合施設「inovas(イノヴァス)※」を
当社茨木事業所内に設立しました。

inovasは、お客様とのイノベーションを創出するきっかけとなる「イノベーションセンター」の機能を有しています。「人」のイノベーション(人財育成)と「技」のイノベーション(研究開発)を融合させて、お客様に驚きと感動を提供する「知」のイノベーションを創出し、当社のブランドスローガンである“Innovation for Customers”を実践いたします。

※本施設の名称は「innovation」とラテン語で「新星」の意味をもつ「nova」の組み合わせからなり、イノベーションにより無数の新星(事業の軸)を生みだしたいという思いが込められています。

TOP MESSAGE

株主のみなさまにおかれましては、日ごろのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2015年度業績について

既存事業の売上と利益の最大化を図りながら、グリーン(環境)、クリーン(新エネルギー)、ファイン(ライフサイエンス)の新領域で多軸展開を推進し、事業ポートフォリオの変革を進めました。オプトロニクス事業では、プリント回路がハードディスク駆動装置の生産減の影響を受け、また、液晶用光学フィルムが年度後半のスマートフォンの生産減の影響を受けました。

インダストリアルテープ事業では、北米市場を中心に自動車材料の採用が進み好調に推移しました。さらなる拡大に向け、ドイツミュンヘンにカーエレクトロニクスの拠点を設立しました。

ファイン(ライフサイエンス)領域のメディカル(医療関連材料)では、米国における核酸医薬の受託製造ビジネスが、ニーズの広がりをつえ大きく伸張しました。また、日本においても同ビジネスを開始しました。

以上により、為替レート1US\$=120円のもと売上高は、7,930億円(2014年度比96.1%)、営業利益は1,023億円(2014年度比95.9%)となりました。

2016年度の取り組みと中期経営計画Nitto-2018

2016年度の経済動向は、世界的に減速基調となり、為替も円高に推移することが予測されます。想定為替レート1US\$=110円の前提で売上高7,700億円、営業利益900億円を計画しています。

オプトロニクス事業においては、スマートフォンの市場成長が鈍化する傾向にあります。また今後、液晶ディスプレイに代わり有機ELディスプレイの採用が拡大すると予測されますが、当社では、お客様が取り組む新しいテーマに常に応えることで、液晶ディスプレ

イ向け光学フィルムでトップの座を維持し、さらに、対応を開始している有機ELディスプレイ向け材料についても高いシェアを維持してまいります。

インダストリアルテープでは、従来の自動車材料事業に航空機、鉄道車両や船舶などの他輸送機向け材料を加え、トランスポーション事業としました。自動車材料で培った製品技術や分析技術を、他輸送機向けにも展開します。同時に、航空機等で確立してきた専門性を自動車へ展開します。

メディカル事業では、好調な核酸医薬の受託製造ビジネスをさらに伸ばすため、設備増強を進めます。加えて、中長期的な視点で取り組んでいる分子標的DDS(ドラッグ・デリバリー・システム)を用いた肝硬変治療薬について、治験を次のステージへと着実に進めていく計画です。

Nittoグループは、2018年に創立100周年を迎えます。この記念すべき節目を越え、次の〈Nitto-New Century〉へ向けた事業ポートフォリオの変革を継続して行うため、2018年を最終年度とする3か年の中期経営計画Nitto-2018を策定しました。市場のニーズに一歩先んじて応え、グリーン、クリーン、ファインの領域で持続的な成長へ挑んでまいります。内容につきましては、次のページで説明します。

利益の還元について

Nittoグループは、株主のみなさまへの利益還元を、経営上の最重要課題の一つとしています。「ものづくり」をする会社として、必要な設備投資を機敏に行うことで、持続的な成長を実現し安定的な利益の還元を行います。具体的なキャッシュの使途については、優先度の高い順に、設備投資、配当、M&A、自社株買いとしています。2016年3月に経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、自社株買いを行いました。今後も臨機応変な対応をしていきます。

なお、2015年度の年間配当は、利益水準と財務状況を勘案し、2014年度比で1株あたり20円の増配となる140円とさせていただきます。また、2016年度の年間配当は同じく140円を予定しています。

代表取締役 取締役社長
CEO・COO

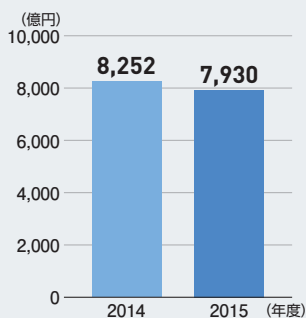
高崎 秀雄



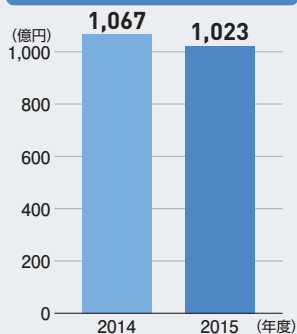
業績ハイライト

※2014年度より国際会計基準 IFRSを適用しています。

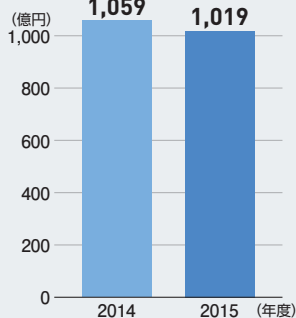
売上高



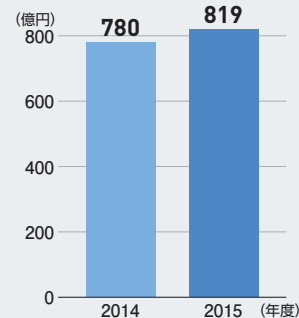
営業利益



税引前利益



当期利益



海外売上高比率

72.2%

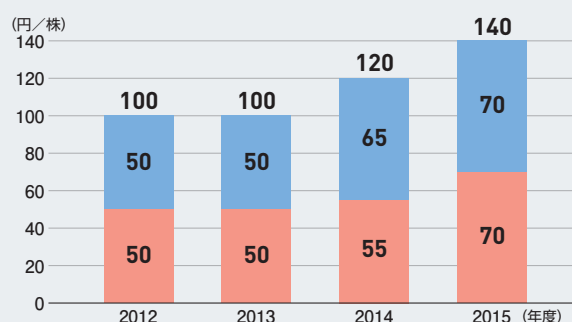
海外売上高 5,724億円
国内売上高 2,206億円

自己資本比率

74.4%

自己資本 6,144億円
総資産 8,259億円

1株あたり配当金

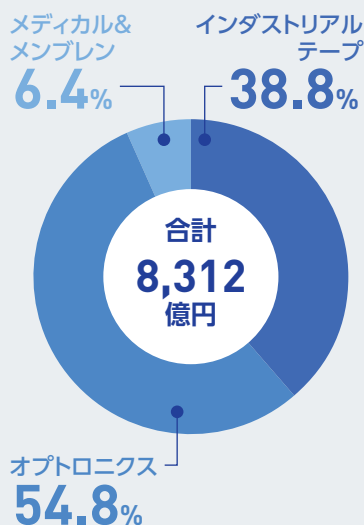


ポイント

- 2015年度上半期は、情報機能材料(液晶用光学フィルム)、基盤機能材料、自動車材料、メディカル(医療関連材料)、メンブレン(高分子分離膜)が業績を牽引しました。一方で、プリント回路は年度通期でハードディスク駆動装置の生産減の影響を受け、情報機能材料は、年度後半のスマートフォンの生産減の影響を受けました。
- 2015年度の年間配当は2014年度比で20円の増配となる140円といたしました。2016年度の年間配当も140円を予定しています。

セグメント解説

●セグメント別売上高構成比(※)



※上記売上高構成比は、全社・消去を含まずに算出しています。
全社・消去の売上高は、382億円です。

インダストリアルテープ

当期売上高 3,221億円



自動車用 制振補強材料(NVH)

自動車材料※と基盤機能材料の2つのサブセグメントから構成されています。自動車材料は制振補強材料(NVH※)やランプ・電子制御ユニット用の内圧調整部材が前年度に続き売上を牽引しました。基盤機能材料は構造改革による収益性改善を進めました。

※自動車材料は、2016年度より、トランスポートーションへと名称変更しています。

※NVHは、Noise(騒音)、Vibration(振動)、Harshness(不快さ)を抑制する製品の呼称です。

オプトロニクス

当期売上高 4,558億円



タッチパネル用 透明導電性フィルム

情報機能材料、プリント回路、プロセス材料の3つのサブセグメントから構成されています。2015年度の後半はスマートフォン市況の減速の影響を受けました。有機ELディスプレイ向け材料はこのセグメントで開発・販売を行っています。

メディカル&メンブレン

当期売上高 533億円



核酸合成用ビーズ

メディカル(医療関連材料)とメンブレン(高分子分離膜)の2つのサブセグメントから構成されています。メディカルは核酸医薬の受託製造ビジネスが売上を牽引しました。メンブレンは工場排水用や海上油田用等の確実な受注により好調に推移しました。

中期経営計画 Nitto-2018

事業ポートフォリオの 変革を加速

既存事業での成長を図るとともに、技術、情報やマーケット別の取り組みを“融合”させることで、環境のGreen、新エネルギーのClean、ライフサイエンスのFineの分野における、新規事業の創出を行っていきます。

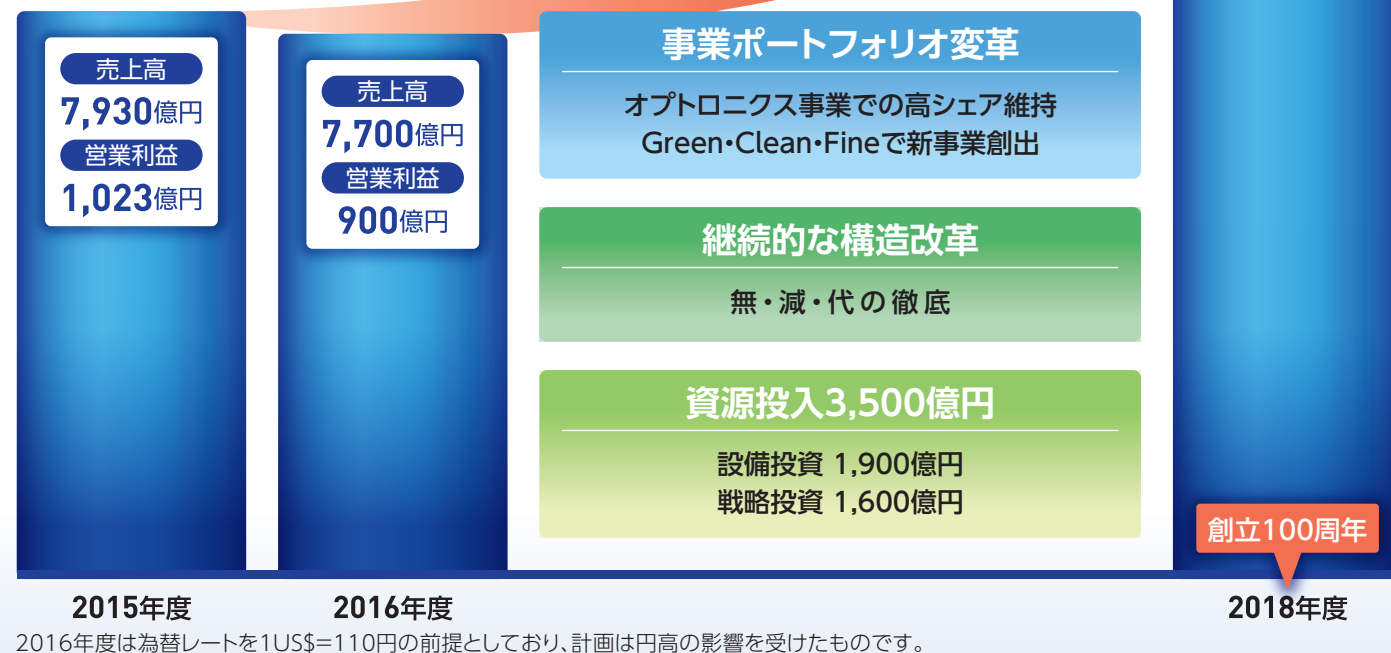
構造改革に向け “無・減・代”の徹底

全社一丸となって、無くす、減らす、代える、に仕組み、外部環境の変化に左右されない強い企業体質を構築していきます。

資源の投入 (3カ年合計 3,500億円)

ものづくりを担う会社としての設備投資1,900億円、M&Aや環境関連などの戦略投資枠1,600億円を計画しました。

2018年に100周年を迎え、 新たな世紀“Nitto-New Century”に 向けての架け橋となる3年間の計画



事業ポートフォリオ変革

オプトロニクス事業での高シェア維持
Green・Clean・Fineで新事業創出

継続的な構造改革

無・減・代の徹底

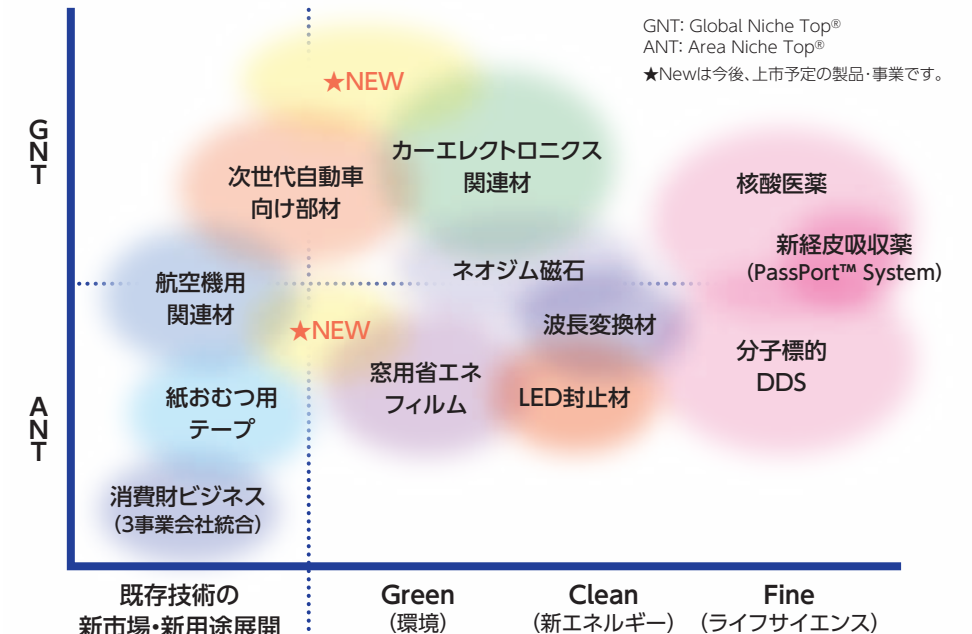
資源投入3,500億円

設備投資 1,900億円
戦略投資 1,600億円

創立100周年

新規事業の創出・拡大

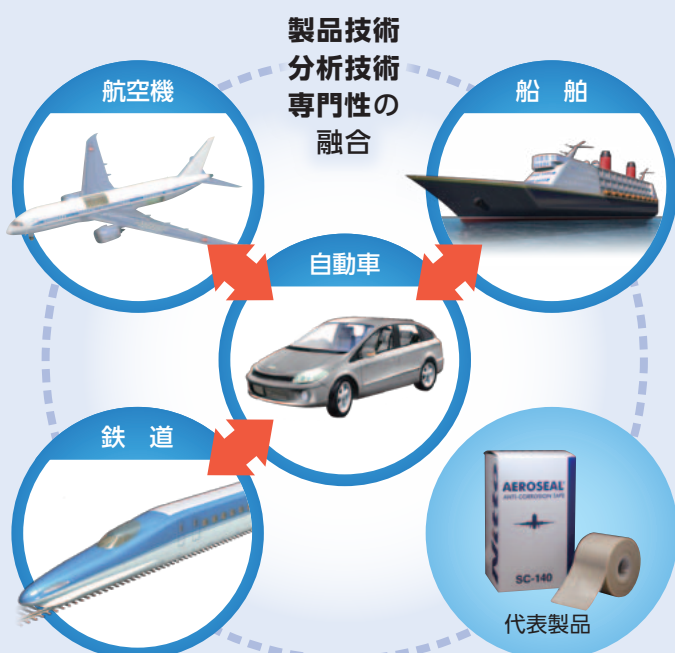
Green・Clean・Fineの新たな製品・事業を開発し成長を牽引



技術、情報やマーケット別の取り組みの“融合”を進めています。

トランスポーター事業の立ち上げ (2016年4月)

自動車材料で培った製品や分析の技術を、航空機や鉄道車両など他の輸送機向けにも展開します。また、航空機用の材料で確立してきた専門性を自動車材料へ展開します。

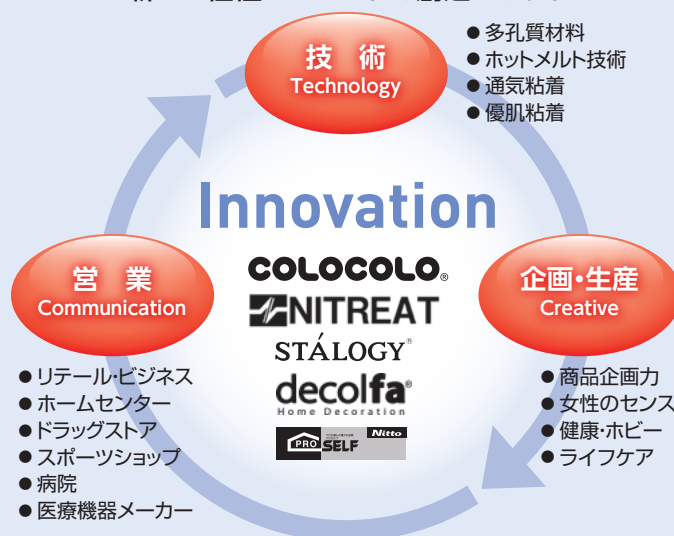


消費財ブランドビジネスを統合、強化 (2016年7月)

～新生 ニトムズのご紹介～

たとえば日東メディカルのお客様 (医療の領域) へのニトムズのコロコロ®のご提案など、BtoC (消費財) 事業を行っている3つの会社を統合することで、固有の技術と企画力を融合させ、新しい価値を市場に提供できる体制を強化していきます。

統合3社の技術力・企画力・営業力を融合させ
新しい価値とブランドを創造します。

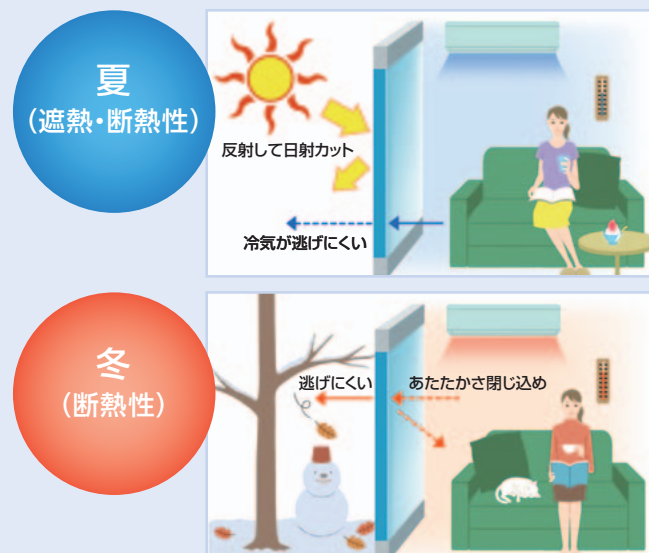


Green (環境) Clean (新エネルギー) Fine (ライフサイエンス) 領域で成長させていく製品群

Green (環境)

製品 窓用 遮熱・断熱フィルム (製品名 PENJEREX®)

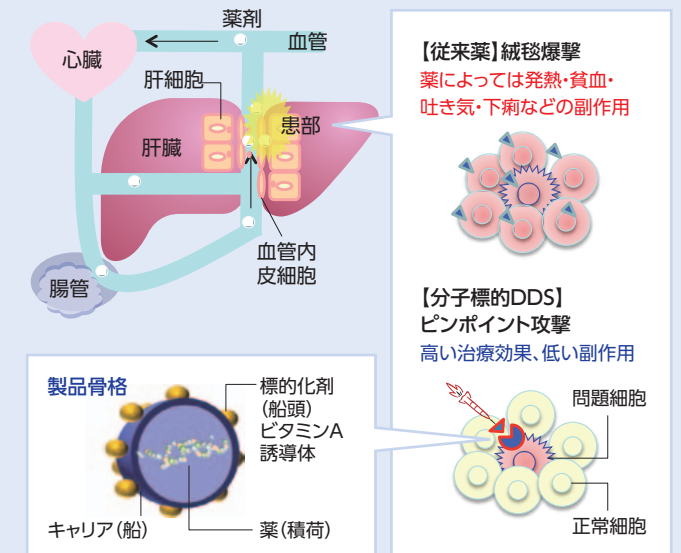
窓の内側に貼ることで、室内を夏は涼しく冬は暖かくすることに貢献するフィルムです。2015年度はアジア・北米・欧州にも売上拡大しました。タッチパネル用透明導電性フィルムの技術を応用して製造していることから、技術の融合による用途展開です。



Fine (ライフサイエンス)

製品 肝硬変治療薬

分子標的DDS (ドラッグ・デリバリー・システム) 技術を用いた肝硬変治療薬は、米国、ブルガリア、日本にて患者様への治験を行っています。2016年度後半には米国における治験を次のステージへと進める予定です。Nittoの強みである高分子技術と医薬の融合によるこの薬を、一日も早く患者様へお届けできるよう取り組みます。



STÁLOGY®

グループ初のアンテナショップが、 東京・代官山駅前にオープン



Nittoグループのニトムズが展開する文具ブランド「STÁLOGY®」のアンテナショップが、2015年12月8日(火)東京都渋谷区・代官山にオープンしました。ショップでは、商品の販売だけでなく、1年後の未来へ向けた手紙を預かる「未来レター」サービスやワークショップなどを随時実施しながら、お客様との交流を深め、STÁLOGY®ファン層を拡大していきます。



STÁLOGY®

Nittoグループの粘着技術とgood design companyのトータルディレクションが掛け合わさった、機能とデザインを融合させた文具ブランドです。

STÁLOGY LABORATORY TOKYO

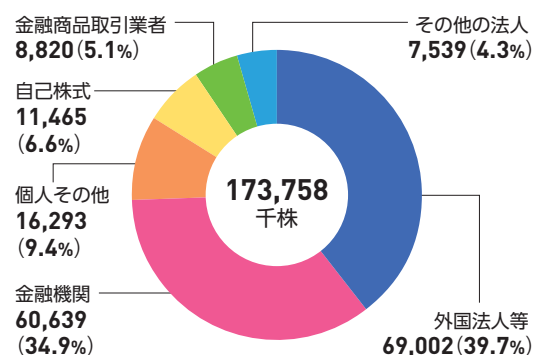
所在地：東京都渋谷区恵比寿西1-35-16
代官山アドブルビル
営業時間：11:00-20:00
定休日：火曜日
電話：03-3464-9011
運営：株式会社ニトムズ

■ 株式の状況 (2016年3月31日現在)

発行済株式の総数 173,758千株
株主数 37,694名

所有者別分布状況

(単位：千株)



■ 株主メモ

証券コード 6988(業種:化学)
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当受領株主確定日 3月31日(期末配当)、9月30日(中間配当)
定時株主総会 6月
単元株式数 100株
上場金融商品取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話:0120-094-777(通話料無料)

※株式に関するお手続きについては、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.nitto.com/jp/ja/ir/stock/procedure/>

Nitto

日東電工株式会社 〒530-0011 大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪 タワーA 33階

UD
FONT
by MORISAWA